

新築の前に考えてみたい まるごとリフォームとは

わくわく通信

発行人
株式会社ホーム&ヒューマン・ナビ
代表取締役 安保隆
太白区長町3-3-11-101
TEL022(247)8851
FAX022(247)8853



リフォームごぼれ話(まるごとリフォーム編)

新年あけましておめでとうございます。2014年、皆様のご健康とご多幸を祈念しています。休刊しておりました「わくわく通信」復刊第一号をお届けします。震災後の忙しさで、約三千部の配布作業が不可能な状況が続きましたが、昨年秋頃から少し落ち着いてきた事と、年末の挨拶訪問で復刊を待望される顧客様の声が予想以上に多く、再開のエネルギーになりました。



2013/06/26

今後は、住宅リフォームに関するタイムリーな内容は勿論のこと、従来以上に、皆様のお役に立てる情報をお届けしていきたいと思えます。さて、今回のテーマは「まるごとリフォーム」です。古くからの顧客様から、お子様が世帯を持つても同居して暮らせるようにリフォームしたい。どの依頼を受けたのは4年前の夏の事でした。その時は諸事情で、ご契約には至りませんでした。その



後も新築を含め検討されていた結果、新築の場合、ご予算的に坪数が小さくなり、希望の間取りが取れないことから、大手全面リフォーム専門会社でリフォームする事を決め、仮契約をされました。しかし、ご予算と希望の仕様がどうしても合わず、当社に相談がありました。見積をしたところ、サッシ類を断熱サッシに全て交換し、可能な限り断熱材を入替え、給排水、電気配線をすべて取り替えても、金額的な差が無いことがわかり、ご契約に至りました。店舗併設住宅だったため、

店舗を解体し駐車場にし、玄関や階段の位置を変更し、キッチンの位置もLDKにするため変更し、内部は全て下地から替え、耐震補強も行いました。屋根は瓦から葺替え、外壁は断熱性・遮音性・耐震性に優れた金属サイディング仕様になりました。住みながらのリフォームであり、顧客様も大変だったと思いますが、職人の仕事振りが毎日見られ、完成(写真上)の喜びもまた格別なものだったと思います。今回の事例は、既存の建物(写真下)が、しっかりと良い大工の手によるもので、構造材

の腐食が無かった事で、顧客様の希望通りのリフォームが出来ましたが、調査により基礎や土台等に障害が大きい場合、また2×4や軽量鉄骨等、構造上壁の撤去が難しく、希望の間取りが取れない場合については新築をお勧めすることがあります。震災後、新築件数が増え、見慣れた住宅が解体されている現場を多く見ます。そのたびに少し悲しさを覚えます。木材は本来二百年以上の耐久性を持っています。新築をご検討の場合は、どうかリフォームもお考え下さい。限りある地球資源のために。

給湯機器の凍結にご注意を

寒い日が続きます。この時期はガス給湯器、電気温水器、エコキュート等、給湯機器の凍結に注意が必要です。最高気温が氷点下付近の日が要注意です。お風呂を沸かそうとしたら、お湯が出てこない。困りますよね。最近の給湯機器には、外気温が下がると、自動運

転して、追い焚き配管に微量のお湯を供給し、凍結を防止する凍結予防機能がついています。浴槽内に(循環口の上部10cm程度)水が張られていないと作動しません。凍結は、朝に浴槽を清掃し、水を落とす状態、日中の気温が氷点下前後になる場合に多く発生す

るようです。お風呂を沸かす直前に清掃するように変えることが、凍結予防として非常に有効です。また、外部の配管には通常、凍結防止ヒータが巻かれています。電源コンセントが抜けたままになっていないか確認して下さい。旅行等で留守にする場合は、念のため、浴槽に水が張られたままの状態、お出かけ下さい。

編集長の独り言

あの震災から2年10ヶ月が過ぎ、三回目の新年を迎えました。

震災直後の電気も水道も止まった寒い自室で、携帯ラジオから流れてきた津波被害を聞いた時の衝撃は忘れることが出来ません。当社の顧客様の中にも、基礎部分だけを残して跡形もなく流されてしまった方や、床上浸水の被害にあった方をはじめ、多くの方々が家屋の被害に遭われました。携帯電話が繋がった直後から、続々SOSが寄せられ、ガソリンの心配をし

会社案内

株式会社ホーム&ヒューマン・ナビは住宅・マンションリフォーム専門店です。

『お客様の最も大事な生活基盤である「家」作りのお手伝いをさせていただくことを通じて、笑顔・健康・安らぎ・幸福を発信する』を基本理念に掲

ながら、被害調査や応急処置、屋根のブルーシート養生に駆け回った日だが、昨日のこのように思い出されます。

震災後暫くの間、資材や職人の絶対数が不足し、最善は尽くしましたが、必ずしも十分な対応が出来なかつた事についてはお詫びしたいと思います。当社においては、震災後の復旧工事については、一昨年で、ほぼ目処が立ち、昨年からは震災とは関係がないリフォーム工事が中心となりましたが、一方、津波被害地域の寒々とした情景は未だ変わりが無いように見えます。当社事務所周辺にも仮設

け仕事をさせていただいております。

二級建築士である社長自ら現場調査、工事管理、アフターを行い、また、熟達したプロの専門職人により、間違いのない、高精度の工事をお約束いたします。
《営業種目》
住宅リフォーム工事 (設計・施工)
マンションリフォーム工

住宅で、不便な生活を強いられている方々が大量におられます。復興は遅々として進んでいないように思えます。

お隣の福島県の状況は、更に過酷で、福島第一原発爆発事故により、県外での避難生活を余儀なくされている人々が4万8千人。首相が「完全にコントロールされている」と世界に宣言したはずの、福島原発では、メルトダウンした核燃料の状況が未だつかめず、放射能汚染水の流失が止まらない状況にあり、解決方法や、廃炉の工程も決まっていないのが現状です。政治家は「復興最優先」

事 (設計・施工)

風呂・キッチン・トイレ等水回りリフォーム工事
バリアフリー工事 (費用補助申請代行いたします)
塗装工事、屋根・外壁・雨樋工事、内装工事
左官工事、舗装工事
ガス給湯器・エコキュート・電気温水器設置工事
サンルーム・テラス・フェンス・エクステリア工事等、まるごと全面リフォーム

などとありますが、熱心にやっている事といえ「特定秘密法案」の創設や「武器輸出三原則」の見直し、「集団的自衛権行使」…次の国会では戦前の「治安維持法」によく似た「共謀罪」が上程されるなどきな臭いものばかりに思えるのは私だけでしょうか。

私がまだ小さい頃、街角には軍服を着た、ハーモニカを吹く片足の無い傷痍軍人の姿があり、友だちには、南方戦線からの帰還兵の祖父がいて、悲惨な戦争の話を聞いたものです。戦争を体験し、「もう、そんな世の中にはしたくない」と考えて

ムから、小工事、修理まで、住宅の事ならなんでもご相談ください。

◎平成18年10月創業
◎資本金1000万円
◎宮城県知事許可 (般24) 第19441号
◎見積無料で作成します。
電話 (247) 8851
お気軽にご連絡ください
◎事務所所在地・仙台市太白区長町3丁目3-11
オアシスイト101号

おられる方が沢山いたのでしよう。そういう方々がだんだん少なくなり、「抑止力」が少なくなってきたのでしようか、今は、戦争の足音が聞こえてくるような気がしてなりません。私の杞憂であれば良いのですが。

戦争ほど非人間的・非人道的なものはありません。先の戦争で、日本人は軍人、非戦闘員を含め約三百万人が犠牲になりました。当時の支配者階級は、国民を使い捨ての奴隷としか考えていないように思えます。大西瀧治郎中将は「二千万人ほど死ぬば日本は負けません」と本土決戦を説いてまわりました。当時の人口が7千万人ですから、国民の約30%を殺す気だったのです。もし、これが実行されたのなら、私も皆様もここにいなかったかもしれません。

辛い事に本土決戦は免れたのですが、この思考は今も受け継がれているように思えます。特攻隊を美化し、美談にし、彼らの命の犠牲を彼らの望まない方向へ運ん

でいき、自分たちの金儲けに利用する人達。責任を一切負わずに、逃げ回る人達。最低ですよ。今もいますけども。そういう奴らが。

米国の俳優であり映画監督でもあるクリント・イーストウッド氏は、このような言葉を残しています。「戦争を美しく語る者を信用するな。彼らは決まって戦場になかった者なのだから。ずっと前から、そして今も、人々は政治家のために殺されている。」名言だと思います。

正月早々、重いテーマで申し訳ありませんが、書かずにはいられませんので。さて、大事な連絡ですが、事務所を長町に開設し、電話番号も変更になりましたのでお知らせします。
◎住所・仙台市太白区長町3丁目3-11オアシスイト101号
◎電話022 (247) 8851
2014年、平和で明るい年にしたいものです。皆様のご健康とご多幸を祈念しています。今年もよろしくお願ひします。